

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	体力向上・睡眠教育推進事業			シート番号	038-052
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	生徒指導
				課	評価責任者(課長名)
					中達

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	学ぶ力・生きる力の育成	有
	2	事業開始年度	平成 24 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	教育基本法 学習指導要領 スポーツ推進計画			
	4	関連計画	堺市教育大綱、第2期未来をつくる堺教育プラン			
5	事業実施の経緯	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちに運動の二極化傾向がみられ、特に女子中学生で二極化が顕著である。 体力要素の課題では、柔軟性は全国水準に近いものの、敏捷性や瞬発力は全国との差が大きい。 新体力テストの各種目では、小学校1年生の段階から全国と差があり、学校全体での取組が必要である。 本市で取り組んできた「家での7つのやくそく」を一層充実させるため、睡眠教育を軸として子どもたちの生活習慣の改善を図る 				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 (()) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 (())				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市立全学校園の幼児児童生徒・保護者・教職員、私立幼保子ども園の幼児児童・保護者・教職員、市民				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の運動意欲を高め、運動習慣の確立を図る。 堺市の児童生徒の体力、運動能力を全国水準まで向上させる。 幼児児童生徒の睡眠を中心とする生活習慣の改善に取り組むことで、不登校の改善を図る。また中学校区を軸に幼小中の連携、さらにPTAや地域住民等と連携することで、地域コミュニティを促進する。 				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<ul style="list-style-type: none"> 体力向上推進事業(5小中学校を体力向上研究校として指定し、調査研究を実施) 関西大学と連携した体力向上サポーターの活用 堺市体力向上検討会議(関西大学教授をスーパーバイザーとして、本事業の効果検証及び体力向上に関わる実践研究に関する協議等を行う) 堺スポーツチャレンジランキング事業(小学校対抗長縄跳び) JFAアカデミー堺と連携したサッカー指導教室の開催 睡眠教育を推進するリーダー育成研修会を年間6回程度実施。 みんなくフォーラムや、みんなく実践成果報告会を実施。 全市への啓発チラシを作成し、配付。 みんなくDVDを作成し、配付。 睡眠教育推進校への啓発シールを作成し、配付。 実践校で睡眠アンケートを実施し、成果を発信。 				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (())					

Ⅲ. 投入量

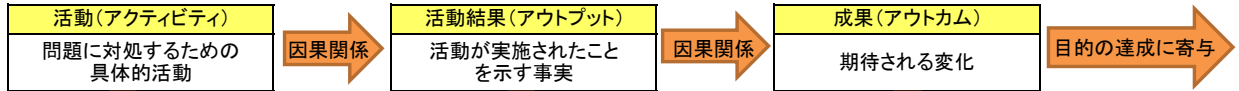
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	4,312	3,531	6,764	3,520	4,181	3,929	4,522	
	主な事業費内訳	体力向上推進事業(サポーター謝礼金)	千円	480	343	720	348	720	530	720
		スポーツチャレンジランキング	千円	303	253	303	239	297	565	301
		JFAアカデミー堺によるサッカー指導教室	千円	1,180	1,058	1,320	1,299	1,284	1,184	1,460
		睡眠教育推進	千円	1,220	1,097	1,140	782	1,000	849	1,000
	財源内訳	国・府支出金	千円	1,220	1,000	1,000	481	1,000	849	1,000
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円			2,152				
		その他(子ども教育ゆめ基金繰入)	千円	1,100	941	1,320	747	1,300	998	1,325
		一般財源	千円	1,992	1,590	2,292	2,292	1,881	2,082	2,197
	12	人件費 (b)	千円	2,870	2,870	3,280	3,280	3,240	3,240	3,280
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	7,182	6,401	10,044	6,800	7,421	7,169	7,802	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	体力向上・睡眠教育推進事業	シート番号	038-052
-------	---------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載	【達成率に基づいた評価基準】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>評価</th> <th>達成率</th> </tr> <tr> <td>大変良い</td> <td>120%以上</td> </tr> <tr> <td>良い</td> <td>100%以上120%未満</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>80%以上100%未満</td> </tr> <tr> <td>少し悪い</td> <td>60%以上80%未満</td> </tr> <tr> <td>悪い</td> <td>60%未満</td> </tr> </table>	評価	達成率	大変良い	120%以上	良い	100%以上120%未満	普通	80%以上100%未満	少し悪い	60%以上80%未満	悪い	60%未満
評価		達成率											
大変良い		120%以上											
良い		100%以上120%未満											
普通		80%以上100%未満											
少し悪い	60%以上80%未満												
悪い	60%未満												
[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載													

事業の活動実績や成果

		令和元年度実績																															
活動実績と成果	14	<p>・堺スポーツチャレンジランキングは、学校全体で取り組む事例が増加している。 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査においては、小学校5年生男子で3種目、女子で1種目、中学2年生男子で1種目、女子で1種目、全国平均を上回った。 <睡眠教育について教育委員会の取組> ・睡眠教育教員研修「みんなリーダー研修会(全6回)」の実施 ・みんなフォーラム等、講演会等の実施 ・啓発チラシ、リーフレット等の配付 ・専門医と連携し、研修会や資料を作成 <実践校の取組> ・睡眠教育公開授業、講演会の実施 ・学期に一度の学級担任による「みんな授業」を実施。その際に、推進校が作成した「新・睡眠を考える本」を使用 ※「新・睡眠を考える本」は作成済み ・自らの睡眠について意識するため、全校生徒への「睡眠朝食調査」を実施 ・睡眠調査で明らかとなった睡眠が乱れている子どもたちへの個別面談「みんな面談」の実施 ・毎月10日を「はよねるデー」とし、中学校区内の幼保こども園、小学校、地域で啓発 ・中学校区内の幼保こども園、小学校、中学校、高等学校、保健センター、地域住民、健全育成協議会、子ども会等と「みんな地域づくり推進委員会」を組織し、地域全体で「みんな」を推進 ・HPでの取組や公開授業での発信 ・中学校区内の幼保こども園、小学校、中学校、高等学校に睡眠に関するアンケート調査を実施。</p>																															
		15	みんな実践校数	校	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>指標名【成果指標】</th> <th>単位</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">みんな実践校数</td> <td rowspan="4">校</td> <td>目標値</td> <td>10</td> <td>30</td> <td>60</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>27</td> <td>54</td> <td>60</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>270%</td> <td>180%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>大変良い</td> <td>大変良い</td> <td>良い</td> <td></td> </tr> </table>	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	みんな実践校数	校	目標値	10	30	60	70	実績値	27	54	60		達成率	270%	180%	100%		評価	大変良い	大変良い	良い	
	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																											
	みんな実践校数	校	目標値	10	30	60	70																										
			実績値	27	54	60																											
			達成率	270%	180%	100%																											
			評価	大変良い	大変良い	良い																											
			算出方法・設定根拠など 平成29年度より5年間で過半数(幼小中高147校園)																														
		16	堺スポーツチャレンジランキング参加校数	校	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>指標名【成果指標】</th> <th>単位</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">堺スポーツチャレンジランキング参加校数</td> <td rowspan="4">校</td> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>53</td> <td>47</td> <td>47</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	堺スポーツチャレンジランキング参加校数	校	目標値	-	-	-	55	実績値	53	47	47		達成率					評価				
	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																											
堺スポーツチャレンジランキング参加校数	校	目標値	-	-	-	55																											
		実績値	53	47	47																												
		達成率																															
		評価																															
		算出方法・設定根拠など 令和2年度より参加校数に変更する																															

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	みんな実践校数	校	27	54	60
	②	上記①にかかる年間経費	千円	1,989	1,511	1,550
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	73,667	27,982	25,833
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	堺スポーツチャレンジランキング参加校数	校	53	47	47
	②	上記①にかかる年間経費	千円	459	462	1,031
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	8,660	9,830	21,936
	備考(算出についての説明等) 令和元年度は元号改正のためのホームページ修正経費が増加。					

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	<p>・体力の向上については、規則正しい生活習慣や運動に積極的に取り組むことが関係している中で「堺スポーツチャレンジランキング」やみんなを通して、堺市の子どもたちの体力も徐々にではあるが高まってきている。今後参加率の向上を図る取組を推進することは重要である。</p> <p>・みんな実践校数について目標を達成できたのは、実践校並びに、実践校のPTAや地域住民が協働して取り組むことができたため。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	体力向上・睡眠教育推進事業	シート番号	038-052
-------	---------------	-------	---------

≪ V. 点検 ≫

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 ・堺市の児童生徒の体力、運動能力を全国水準まで向上させることができなくなる。 ・幼児児童生徒の睡眠を中心とする生活習慣の改善に取り組むことができず、不登校の改善を図ることができなくなる。また中学校区を軸に幼小中の連携、さらにPTAや地域住民等と連携することができず、地域コミュニティを促進することができなくなる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 休止の場合の再開時期 ・堺市の児童生徒の体力、運動能力維持への影響。 ・幼児児童生徒の睡眠を中心とする生活習慣への影響。 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 ・JFAアカデミー堺サッカー指導教室の会場使用料、バス借り上げ料を減額する。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 感染対策を実施しながら対応を予定している。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 子どもたちの体力向上並びに生活リズムの改善は生きる力の基盤となるもので、今後とも積極的に進めていく。その中で、地域のスポーツ少年団や子育てサークルとの連携、ICTを活用して記録の整理や改善計画の共有に取り組むとともに、取組の成果や課題について、国や他市と交流を図る。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 児童生徒が関心意欲を高めて、運動習慣の確立・睡眠教育の習慣化を図るために下記の内容を行う。 ・体力向上研究校の取組を全学校に周知 ・「堺スポーツチャレンジランキング」の普及促進 ・睡眠教育については、学校、家庭、地域が連携した取組の推進及び実施推進校の増加に向けた取組 令和3年度は、JFAアカデミー堺サッカー指導教室の会場使用料、バス借り上げ料を減額し、縮小するが、児童生徒の運動への関心、意欲を向上させることができる事業であるため、令和4年度は現状の内容を行う。		